

第33回技術研究発表会 梗概 < I 論文 >

A.環境・生活様式

【HP 掲載No.A04】

発表No.	A04
タイトル	「TOKYO OASIS」が目指すデータプラットフォームの整備 ～データ収集・変換・可視化の実際～
所属・名前	三菱地所株式会社／ 一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会（エコツェリア協会） 北村 真志 松井 宏宇 Pacific Spatial Solutions 株式会社 八十島 裕 伊勢 紀 中川 貴滋 株式会社三菱地所設計 植田 直樹 安田 香平 中条 瑛子
キーワード	①データプラットフォーム ② グリーンインフラ ② エリアマネジメント
<p>大丸有地区では、2020年7月から環境データを活用した快適な外歩きを提案する「TOKYO OASIS」の社会実験として、ビルや樹木の日陰を考慮した涼しいルートの検索や快適に過ごせる場所の情報提供を行ってきた。並行して実施した利用者アンケートの分析等の結果・検討を踏まえ、本年7月から新たに（1）座れる場所、（2）樹木情報、（3）30分先までの降雨予測、（4）3種類のルート検索（日なた／日陰／最短）の機能を追加し、第2弾社会実験を開始している。</p> <p>本稿では、これまでの取り組みからスマートシティにおけるデータプラットフォームに不可欠な要素として浮かびあがった（1）柔軟で強力なAP、（2）データ収集、変換、可視化、（3）フィードバック、（4）セレンディピティを想定したデータプラットフォームの強化について報告するとともに、本サービスの今後の展開にあたる4つの考え方「3D化」「インドア対応」「他アプリケーション連携強化」「オープン化」を紹介する。</p>	